

被災者支援活動ニュース

“連帯の厚さに感じ入り感激” “仲間を支える力” 「救援・救済制度」の見舞金に感謝

「救援・救済制度」からの見舞金が届き、被災した党員から感謝の声が寄せられています。そのうち、罹災証明に添えられていた二人の方の手紙をご紹介します。

拝啓 り災証明書をコピーしましたので送らせて頂きます。

年末のお忙しい中、当地、地震のお見舞金を頂きまして誠に有り難く感謝申します。

こうした救援・救済制度など理解し得なかったので大変、連帯の厚さを感じ入り感激いたしました。

お陰様をもちまして、十二月二十五日(日)約二ヶ月振りに屋根のブルーシートがとれて、ホットしている様です。

終わりにりましたが、小生、最近体調をくずして、会議等仲々出られなくて失礼して申し訳なく思っております。仲々本腹もむずかしい様です。

末筆乍、党の一層のご発展と、皆様方の益々のご健勝をお祈りいたします。



※被災者訪問ボランティアは、来年以降、毎月21日・午後1時・ボランティアセンター集合で継続していきたいと思えます。よろしく願います。

前略

多岐にわたってご支援ご援助いただき本当にありがとうございます。

党の救援・救済制度を一九八〇年代に知り、毎月一口一〇〇〇円ずつ積み立ててきたと思います。

まさか、自分がこの制度の対象になるとは思いませんでした。

申請書を提出します。ご検討ください。このようなとりくみも仲間を支える大きな力になると思います。ありがとうございます。